

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	高齢者福祉バス運行事業	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			TEL 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	高齢者の心身の健康保持、高齢者同士の交流と親睦を深めていただくために高齢者福祉バスを運行する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内に住所を有する概ね60歳以上の者で組織された団体、又はこれに準ずるものとし、1回あたりの参加者は20名以上とする。	対象とした数	86,591	人
		実際に 利用した数	4,962	人

活動の内容	(何を したか)	1. バスを利用しようとする団体は、バス利用申請書に必要事項を記入のうえ、申請を行う。 2. 申請の受付は年4回に分けて行う。 3. バス運行の範囲は県内及びその周辺の施設を利用するための送迎並びに研修会・視察見学会等へ参加するための送迎とする。 4. 利用回数は1団体につき年1回とし、1回の利用は1日間とする。							
		活動実績	項目名	一回あたり参加人数	28.03	項目名	稼動日数	177	項目名
			単位	人		単位	日		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,578	1,736	9,721	28.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用者数	乗車人数の集計	4500	4962	110.3
			単位	単位	単位
			人	人	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	現状どおり 増額 * 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了						
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕					終了
		予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040400	TEL	2998-9120		
事業コード	高齢者福祉バス運行事業							
040405	保健福祉部 高齢者支援課							
開始年度		昭和	53	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画			高齢者福祉バス運行管理要綱			
	関連・類似事業							
総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	1 いきいきと暮らすための支援・サービスの充実	小柱	(2) 在宅介護支援対策の充実

③事業の内容	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○					
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
	コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	3121	受益者負担の見直し		
事業開始の背景	多くの高齢者が研修会や見学会などを行う時の異動手段が必要であった。この時、市民から寄付が寄せられ、この寄付により高齢者専用の中型バスを購入し高齢者団体の移動手段とした。							

④前年評価と改善点	目的(何のために行うか、具体的に)								
	高齢者の心身の健康保持、高齢者同士の交流と親睦を深めていただくために高齢者福祉バスを運行する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方				
	市内に住所を有する概ね60歳以上の者で組織された団体、又はこれに準ずるものとし、1回あたりの参加者は20名以上とする。				高齢者福祉バス乗車実人数				
対象数	単位	平成 18 年度	82,044	人	利用数	単位	平成 18 年度	4,576	人
		平成 19 年度	86,591	人			平成 19 年度	4,962	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
1. バスを利用しようとする団体は、バス利用申請書に必要事項を記入のうえ、申請を行う。 2. 申請の受付は年4回に分けて行う。 3. バス運行の範囲は県内及びその周辺の施設を利用するための送迎並びに研修会・視察見学会等へ参加するための送迎とする。 4. 利用回数は1団体につき年1回とし、1回の利用は1日間とする。									

⑤経費	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 >>								
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())							
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
平成19年度中に改善した点									
福祉バス利用団体に対して、季節や時季が偏らないよう運行会議を定期的に行い、公平に利用できるよう努めた。									

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		1,574	1,578	1,412	
	決算(見込み含む)		1,492	1,736		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (0.85 人) (人) (0.95 人)				
	正規職員人件費	0.90 人	8,280	0.85 人	7,985	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費					
	事業費合計		9,772	9,721		
	財源内訳	一般財源	9,772	9,721	1,412	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)	28.9	28.7			
	利用数一単位あたり(単位:円)	2,135.5	1,959.1			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	一回あたり参加人数	利用者/稼働日数	人	27.7	28.03	28	
		稼働日数	同左	日	165	177	170	
	成果分析	利用者数	乗車人数の集計	人	目標値	4200	4500	4200
				実績	4576	4962	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1
%				達成率	109.0	110.3		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		所沢市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	平成21年2月17日に車検有効期間が満了する、以降は排出ガス規制基準に該当しないため、Nox・Pm対策地域内(首都圏)での運行ができなくなる。このため、当該事業の今後の方向性について検討する必要がある。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	平成19年度事務事業評価に基づき、事業の民間業者委託について検討する。		委託化など事業の方向性を決定。	平成21年2月
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	平成21年2月17日に車検有効期間が満了し、以降は排出ガス規制により首都圏での運行が出来なくなる。新たなバスは購入せず、事業の民間業者委託化、受益者負担の導入を検討している。				
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日								

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
	施策の体系						
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
	基本目標						
主要課題							
施策の方向							